３年学年だより

令和7年 10 月 1 日（水）
No.9
吹田市立千里丘中学校
第３学年

①沖縄の歴史 ＜15世紀の琉球王国を舞台にした歴史劇＞

◆◆先生

2 学期当初は、踊りを覚えていないことを隠すためなのかヘラヘラしている姿が目につきました。だから君たちのやる気スイッチが入るまで「大丈夫？」「完成できる？」とハラハラしていました。「真剣に取り組む姿はかっこいい」「真剣に取り組む人を周りは応援する」「誰かにお膳立てしてもらって取り組むよりも、自分で考えて行動することの方がその何倍も心に残る」。君たちに何度も繰り返して伝えたこれらの言葉を、日を重ねていく中で君たちが自主的に実現してくれました。本番終了後の「このメンバーでもう練習できないことが寂しい」という言葉を聞いて、全力を尽くした者だけが味わえる「達成感」という幸せを君たちが噛みしめているように感じ、先生たちの心は熱くなりました。一緒にできて楽しかったよ！短くも充実した日々をありがとう！

◆◆先生

「ここのセリフはこうしたほうがいいんじゃないか」「ここの演技はこうしたらどうか」と，皆が成功に向かって本気で話し合う姿。休み時間にも教室や廊下で『肝高の阿麻和利』を踊る姿。先生たちが知らない間に，友達と話し合って演技に工夫を取り入れていたリハーサル。3年全体の前に立っても，ヒヨらず堂々と大きな声を出せた本番。どの瞬間も，先生たちの心に深く刻まれています。皆も同じなら，私たちは本当に幸せです。大人になっても，物事に本気で向かっていくその姿勢を忘れないでください。それがきっと，周囲や，自分自身をも幸せな気持ちにしてくれると思いますよ。

②伝統的な踊り

◆◆先生

本番当日の出番直前。待機席にいるみんなが真剣に振りの確認をしたり、緊張している表情をみたりして私は一人ワクワクしていました。39 人という大所帯。各パート、各教室に分かれての練習。舞台の上で誰が踊るのか、声を出すのか出さないのか、靴を履くか履かないか、色んな意見がある中、自分達で決めて進めていくことができました。夏休みも学校に来て練習してくれた子達、家で動画を見てたくさん練習した子達、よく頑張りました。わからないところを自分から聞いて教えてもらったり、教えてあげたり、協力する姿をたくさん見ることができて、嬉しかったです。初めは「ムズイって」と言っていたラストの振りも「バシッ」と揃い、めっちゃカッコよかった。一緒にできて楽しかった！ありがとう！

◆◆先生

始めに踊りできた人達を見て、「何かでかいことをやってくれる！」と確信できる人たちが来てくれたと思いました。夏休み中は熱も入らず、2学期に入ってもまだまだ覚えきっておらず、もやもやするときもありましたが、総発が近づくにつれ、「自分が舞台で踊るんだ！」と強い意志を感じさせるように、昼休みや放課後も声を出しながら踊っている姿をたびたび見かけました。迎えた当日、演舞チーム総勢 20 名が息の合ったタイミングで一斉にパーランクをたたき、ポーズを決める姿は圧巻の一言でした。「やればデキる！」をそれを体現してくれた舞台だったと実感しました。当日、一緒になって手を重ねて声を出したのは先生にとってもいい思い出です。この力で、これからももっと周りを巻き込んでいこう！

③沖縄と戦争

◆◆先生

とても難しいテーマだったと思いますが、自分たちの体験を振り返ったり、調べ学習を通して学んだことを上手にまとめて発表することができていましたね！

起承転結のどのグループも、見やすく、分かりやすい、工夫が凝らされたパワーポイントを作成してくれました。総合学習発表会の

振り返りのプリントを読ませてもらいましたが、同学年の仲間や保護者の方に、沖縄と戦争についての内容がしっかりと伝わっていましたよ！何度もパワーポイントや発表原稿を修正・改善し、自信を持って発表できた成果だと思います。難しいテーマに対して真摯に向き合い、まじめに取り組むことができたという経験を、今後も大切にしてほしいなと思います。本当にお疲れ様でした！

◆◆先生

グループに分かれて作成したパワーポイントや発表原稿の中身だけではなく、作成する過程において学んだことが大切だと思います。このテーマについて考えたこと、グループの仲間と話し合い発表の形態や内容を考えたこと、一緒に練習に取り組んだことなど、いくつか印象に残っているでしょうか。どの場面においても、一緒に努力する仲間がいたことを忘れずに、この先の学校生活や進路実現にさらなる努力を重ねてほしいです。

④沖縄の音楽

◆◆先生

総合学習発表会、おつかれさまでした。みんなの声が重なり合って生まれたハーモニーに加え、三線や三板、ピアノの音色が響いたことで、さらに特別な発表になったと思います。歌声と楽器が互いを引き立て合い、聴いている人の心に届いたはずです。

また、練習を重ねる中で大変なことや心配なことも多くあったと思います。三線チームは夏休みから多くの時間を割いて練習に取り組みましたね。合唱チームは本番直前に体調不良が重なり、本番はどうなるかと心配しましたね。ただし、一生懸命に取り組んだこの経験は今後のみなさんの活動に大きく役立つことだと思います。

今回の感動を胸に、また新しい挑戦に向かって進み続けてください。とても素晴らしい発表でした！

◆◆先生

合唱は初日の練習から今後の期待感で溢れました。どんな投げかけや提案にも積極的に受け入れ、自分たちで鼓舞しあい、日に日に合唱が出来上がっていきました。予想を上回る仕上がりの早さで、じゃあ次はどんなことをしようかと、先生自身もいろいろなアイデアや仕掛けを考える日々で充実していました。取り組みの中で特に印象に残っているのが、いつも引っ張ってくれていたメンバーが体調を崩したときに、じゃあ自分が頑張らねばとみんなの覚悟も決まり、続々とたくさんの声が聴こえるようになったことです。自分たちの判断で自分たちで決意し、表現できたことは大きな財産です。この経験を【合唱】という一部分での成果にするのではなく、できる自分を知った今、視野を大きく広げ、力をどんどん発揮していこう！いーやーさっさー！！せいっ！せいっ！

⑤文化

◆◆先生、◆◆先生

文化グループは伝統工芸、衣服、食、方言の4つのチームに分かれて準備を進めました。修学旅行の民家泊体験で触れた沖縄文化の魅力をより詳しく伝えよう！と夏休みから調べ学習をスタートしました。より分かりやすく＆楽しく伝えるために、発表の仕方をみんなで考えて工夫してくれました。伝統工芸チームは琉球ガラス&シーサーの制作をして実物展示をしたり、物語風にシーサーの伝来の由来を紹介しました。衣服チームは琉装の着物を作成してファッションショーを行いながら説明しました。食チームはイラブ―汁の 3 分間クッキング＆サーターアンダギー試食をし、作る材料や行程を紹介しました。食材や鍋をダンボールで制作したり、BGM を歌ったり、楽しめる要素がいっぱい詰まっていました。方言チームは現地の人になりきって沖縄弁の会話に挑戦し、方言クイズで会場のみんなと一緒に盛り上がりました。初めは時間内におさまらなかったり、声が小さかったり、間が空きすぎたり、どうなることかと内心ヒヤヒヤしていました。でも、みんな一生懸命に発表練習をし、時間外に自主練習もしてくれて、本番は最高に面白くて分かりやすい発表を実現することができました。沖縄文化の魅力がバッチリ伝わってきましたよ！見ていてとっても楽しかったです。自分たちで考えたり、創意工夫したり、班のみんなと協力したり、たくさん成長がみられました。今回の取り組みで培った力を、これからの学校生活にも活かしていってね。

⑥沖縄の自然・建築物

◆◆先生、◆◆先生

総合学習発表会でモザイクアートが披露された時の会場の歓声は予想以上で嬉しかったですね。
夏休みから首里城にテーマを決めたり、みんなから集めたコトダマを組み合わせて「命どぅ宝、未来までずっと平和で」の画像を作るのを頑張ってくれた人がいました。2学期が始まってみんなで細かいピクセル（1.5mm×1.7mm）の8色（白、黒、黄、青、緑、水色、赤、エンジ）の切り抜きから始まって色を間違えずに丁寧な貼り合わせを根気よく取り組んでくれました。一人平均4B用紙4枚の割り当てがどこのどの部分を作っているのかモヤモヤしていたと思いますが連結していくにつれて全体像が見えてきて2.5m×5m の大画面が仕上がったときは感動しましたね。
60人もの大所帯でしたが一人一人の地道な活動が実を結びました。会場の歓声で苦労が報われましたね。
スピーチや看板までつくってくれてありがとう。携わってくれたみんな本当にお疲れさまでした。
卒業式でまた披露したいですね。

⑦沖縄の未来

◆◆先生、◆◆先生

1学期に取り組みが始まり、2学期から本格的に活動開始。選抜発表会で班ごとに成果物を発表した後、キャスト班と裏方班に分かれて「主体的に」をキーワードに Let‘s未来！「世にも奇妙な物語」をヒントに、少し変わった発表形式でみんなを楽しませるための工夫を考えました。内輪だけの盛り上がりにならないよう注意し、ボードの作成、小道具・大道具の準備、音響とのタイミング、スライドが映えるための照明係の工夫など、キャストだけに任せるのではなく、多岐に渡って相談しながら作り上げました。
本番は緊張した面持ちのみんなとは裏腹に、会場はあたたかい雰囲気で発表の1つ1つにリアクションをしてくれていました。とっても受けていましたよ。この経験が今後の学校生活にも生かせると思うので、これからも主体的に自分から動いてください。
本当にお疲れさまでした。

写真は，配布された学年だよりをご覧ください。